



水痘ワクチン・成人用肺炎球菌ワクチンと三重病院	1ページ
新任医師紹介／津市消防音楽隊が演奏会に来てくれました～♪	2ページ
糖尿病ワンポイントアドバイス「低血糖のおはなし」／三重病院レポート「七夕☆風船リリース」	3ページ
外来からのお知らせ／外来診察のご案内	4ページ

水痘ワクチン・成人用肺炎球菌ワクチンと三重病院

院長室
だより

国立病院機構三重病院院長 庵原 俊昭

2014年10月から新たに2種類のワクチンが定期接種化します。定期接種化されますと、県下いずれの市町でも公費助成により接種が可能となります。県民の負担が軽減されますので、これを機会に2種類のワクチンを受けて下さい。

定期接種化される一番目のワクチンは水痘ワクチンです。このワクチンは日本で開発されたワクチンで、世界で広く使われています。三重県の小児科医も水痘ワクチンの開発に関わってきました。接種対象者は生後12月から生後36月に至るまでの間にある者で、2回接種します。標準的な接種期間は、初回接種は生後12月から生後15月に至るまでの間で、2回目の接種は初回終了後6月から12月に至るまでの間です。MRワクチンの2回目の接種時期と異なっていますので注意して下さい。

2回目の接種時期がMRワクチンと異なる理由は、三重病院と三重県の小児科医が協力して行った研究で、水痘ワクチンの効果は1回では弱く、水痘が流行すると20～50%のワクチンを受けた子どもが発症する、という結果からです。水痘流行が抑制されるまでは、早期の2回接種が勧められます。なお、私たちの研究では、抵抗力を高める効果は初回接種12ヶ月頃が高いですので、地域で水痘が流行していなければ、初回接種1年後に2回目接種を勧めています。

2014年10月から2015年3月末までの間に限り、水痘にかかっていない、水痘ワクチンを1回も受けていない生後36月から生後60月の子どもは、水痘ワクチンを1回公費助成で受けられます

ので、該当する人は忘れずに受けて下さい。

二番目のワクチンは成人用肺炎球菌ワクチン(PPV)です。このワクチンは定期接種B類ですので、一部自己負担金が生じます。高齢者の侵襲性肺炎球菌感染症の予防が目的ですが、三重病院と三重県の呼吸器内科の先生方の研究によりますと、高齢者施設では肺炎の予防効果もあります。65歳の者が対象ですが、平成26年度から平成30年度までの間は、前年度の末日(4月1日)に各64歳、69歳、74歳、79歳、84歳、89歳、94歳、99歳の者が対象とされますし、平成26年度は、平成25年度末日(平成26年4月1日)に100歳以上の者全員が定期接種として受けられます。

この年齢に該当しない人で接種を希望する人は、定期接種としては受けられませんが、任意接種として受けられます。また、既に1回PPVを受けたことがある者は、定期接種の対象ではありませんので、希望する場合は任意接種になります。

2014年10月から新たに定期接種となるワクチンを紹介しました。日本の予防接種行政に三重病院を始めとした三重県の医師や三重県保健環境研究所職員の研究成果が生かされています。これらのワクチンの定期接種化にご協力いただいた人達に深謝するとともに、今後とも皆様の臨床研究に対するご協力、よろしくお祈りします。

